

第 36 回「しゃっくり」のおはなし

しゃっくりが止まらなると受診される方がいます。息止めや自然に止まることが多いと思いますが、止まらないしゃっくりは、生活の質を著しく低下させます。

ほとんどは一過性のもので、一番多いのは、食べ過ぎ、飲み過ぎです。腹腔の内圧が上がって、横隔膜を刺激することが原因です。風邪（喉の炎症）でもしゃっくりが起こる場合があります。喉の奥の粘膜にはしゃっくりに関係している神経の枝がきており、そこに炎症が起こるとしゃっくりが誘発されます。

慢性的なものとしては、喉の炎症とのからみで、慢性副鼻腔炎（蓄膿症）や逆流性食道炎。腹腔の内圧を上げるものとして、腹部悪性腫瘍や腹水貯留があります。しゃっくりに関係している脳神経（延髄）の腫瘍でもしゃっくりが起こります。ストレスが原因となる場合もあります。ステロイド、抗がん剤、抗生剤、降圧剤などがしゃっくりの原因になることもあるようです。

治療は原因によりますが、お困りの方はご相談下さい。



かわぐち消化器内科
Kawaguchi Gastroenterology Clinic

〒234-0054

横浜市港南区港南台 5-23-30 港南台医療モール 3F

TEL 045-830-5311 / FAX 045-830-5310

URL <http://kawaguchiclinic.net>



LINE お友達登録で当院のお知らせを配信しています。